

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立緑ヶ丘中学校		
実 施 期 間	平成25年11月1日(金)～11月14日(木)		
実 施 概 要	①校区クリーンアップ活動(校区内3小学校と共催) ②授業参観(全学級の公開授業) ③教育講演会(「ネットによる人権侵害」講演会を実施) ④生徒集会(地域共生会議による「緑のさわやか賞」表彰実施)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	410人	計 424人
	地 域 関 係 者	14人	
実 施 状 況	<p>1 本年度の重点 本校は、「共生学校づくり」を目指し、保護者や地域住民との連携を一層深める活動を推進しています。 指導の重点としては、生徒会活動を中心として生徒の「自治力」を高め、生徒自らが考え行動し、自らの生活を見つめ直すことができるようにしたいと考えています。さらに、仲間や地域とのつながりを大切にし、地域への感謝を表す活動やボランティア活動を通して「共生観」を育てることも大切にしています。</p> <p>2 教育週間のねらい 本校では、日々の活動や学校の行事などを生徒主体で運営し、仲間同士の信頼関係を築くための「信緑宣言」の実現を目指しています。そして、教育週間が年度の中間反省と時期的に重なるので、仲間とのかわりを通して、生徒自身に自らの考え方や行動の在り方を振り返らせていきたいと考えました。また、「ネットによる人権侵害」と題した講演を開催し、保護者にはネットを介したトラブルや被害の実態、対策について考える契機にしたいと考えました。</p> <p>3 活動内容 (1) 校区クリーンアップ活動 この活動は、PTA部活動育成委員会と生徒会がタイアップしたもので、生徒が登校時に通学路のゴミ拾い等を行います。生徒に地域の一員としての自覚を高めるとともに、地域に貢献する心を育むことを目的として実施しています。 第1回は、中学校校区内の2小学校と連携し、同1日(5月31日)に実施しました。本校の生徒会執行部の生徒達は、実施日前に小学校に向いて趣旨等を説明し、協力の依頼をしました。また、実施日当日(朝7:30～8:00)にも生徒会執行部の生徒達は小学校に向き、小学校の児童と一緒に学校の敷地内や通学路の清掃活動に取り組みました。 第2回目(11月1日)も1回目と同様の手順で準備をしました。今回は校区内の3小学校と同日に行うことができ、登校時に通学路周辺のゴミ拾いを行いました。通学路の各所でPTAにも協力していただき、親子が協働して行う活動となりました。生徒には、地域の一員として貢献する心を育てる機会となり、保護者にとっては、生徒が活躍する姿を見ていただく機会になりました。</p>		



【小学校でゴミを回収する生徒】

(2) 授業参観

本年度の学校経営の重点「授業における自治」を受け、練り合いのある授業を目指して、全学級の授業公開を行いました。仲間との交流を通して、生徒に「わかった」「できた」という達成感や成就感が味わえるよう、指導過程の工夫に努めました。

(3) 教育講演会

ネットを通じた「いじめ」や事件が全国的に発生しており、PTA本部役員や学級委員会からも強い要望が出されていたため、「人権教育」の視点からネットに関する講演会を企画・実施しました。

講演会の内容は、以下の通りでした。

＜講師＞ 奥谷 文栄さん
佐藤 貴子さん

＜演題＞ 「ネットによる人権侵害」

＜講演の内容＞

全国的に社会問題となっているネットトラブルについて、プレゼンや動画を使いながら、その問題点と対応策について具体的に説明していただきました。保護者は安易に携帯やスマホを子供に与えるのではなく、きちんとした約束をして、正しく使えているか見届けることの大切さを教えてもらいました。



【プレゼンする講師】

(4) 生徒集会

本校では、「信緑集会」と題した生徒集会を教育週間中に実施しています。

今年度は、「黙動掃除の向上」をテーマにして、学級の代表の発表を聞き、全校生徒で意見交流を図りました。多くの生徒が代表学級と自分や学級の姿を比べ、掃除に対する思いや向上への願いを語り、仲間との関わりの大切さを改めて学び合いました。

集会の後半には、地域共生会議による「緑のさわやか賞」の表彰式を行いました。スポーツやボランティア活動等で活躍した約200名の生徒が、地域共生会議の委員から表彰されました。



【積極的に発言する生徒】

成果及び課題

1 保護者や地域の反応

- ・「校区クリーンアップ活動」では、多くの生徒が元気よく挨拶し、通学路で拾ってきたゴミをPTAの担当者に校門で渡しました。多くの生徒が多様なゴミを集めてきた姿から、地域の一員としての意識を生徒が高くもっていることを理解していただきました。
- ・授業参観では、仲間との意見交流を意図的に取り入れ、落ち着いた雰囲気での学習に取り組む生徒の姿を見ていただきました。
- ・講演会では、ネットにおけるトラブルや被害の実態を知り、自分の子どもの使用状況を把握する必要があることを、多くの保護者が感じてくれました。
- ・生徒集会では、生徒相互の活発な意見交流の様子を地域共生会議の方々に見ていただき、「自治」を大切にする本校の教育方針について、理解を深めていただくことができました。

2 学校としての成果と課題

- ・「信緑宣言」に基づく生徒会活動や地域に貢献する活動を実施することで生徒の共生観を育み、実際にその姿を見ていただくことで、保護者や地域の方々に発信することができました。
- ・講演会でネットトラブルの実態や恐ろしさを知っていただき、家庭で子供と話したり対策を工夫したりすることの大切さを、保護者に啓発することができました。
- ・地域の一員としての意識をさらに高められるように活動の見直しを行い、地域や保護者との連携を深めることを確認しました。